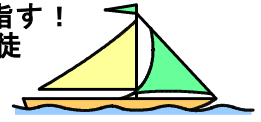


学校教育目標 「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の育成を目指す！

①求めて学ぶ生徒 ②心を高める生徒 ③たくましい生徒



小値賀物語3 第23話



令和4年11月22日発行

小値賀町立小値賀中学校 校長 池田英二

今回の小値賀物語3第23話では、先日開催された「第40回少年の主張発表大会」「第47回おぢか町民文化祭」「2年生郷土料理教室」「アーティストインアイランド」「第59回長崎県PTA研究大会松浦大会」についてお知らせいたします。

少年の主張発表大会（11月12日土曜日）



今年の少年の主張発表大会では、小学生3名・中学生3名・高校生2名の児童生徒が発表しました。中学生の発表者は、1年生山田愛さん、2年生横尾誠悟君、3年生井上かずささんでした。山田さんは、「豊かな海を取り戻すために」というテーマで、現在の海の現状を踏まえ、これから私達に何ができるのか考える内容でした。横尾君は、「北松西高校の存続のために」というテーマで、小値賀の高校生の減少の原因をアンケートをもとに分析して、高校存続のために何ができるのかを真剣に考え発表していました。井上さんは、「健康のカギ『睡眠』」というテーマで、中学3年生の睡眠時間を調査・分析して、質の良い睡眠とは何かを科学的に考え発表しました。3人とも自分のテーマにそって、しっかりと考えをまとめ、根拠を明らかにして自分の考えをわかりやすく堂々と発表する姿が見られ大変素晴らしかったです。

おぢか町民文化祭（11月13日日曜日）

小値賀で生活して3年目になりますが、初めて「おぢか町民文化祭」を見させていただきました。展示部門では、俳句展、リース展、書道展、児童生徒作品展等、小学生から大人までの素晴らしい作品が展示されていました。上演部門では、吹奏楽（北松西高校・小値賀中学校吹奏楽部）、剣舞（かけはし剣舞会）、日本舞踊（寿美栄会）、コーラス（コールみじょか）、和太鼓（さわらび）、吹奏楽（ちかはな吹奏楽団）、コーラス（小値賀少年少女合唱団）、日本舞踊（寿美栄会）があり盛りだくさんの熱演が見られ、小値賀の文化・芸術の質の高さと小値賀の底力を見せてもらったような気がして大変感動しました。プログラムの裏表紙にある田口富三郎氏の言葉「小値賀の文化の灯 灯し続けよう」が輝いて見えました。素晴らしい文化祭を見せていただきありがとうございました。今回は、中学生が参加していた出し物の紹介をいたします。



吹奏楽部



剣舞



和太鼓



コーラス

2年生郷土料理教室（11月17日木曜日）3・4校時



2年生の家庭科の授業で、母ちゃんの会（「ふるさとの味・かーちゃんの味」伝えよ一会：代表 浦いせ子様）の皆様と指導漁業士の中村光洋様のご指導のもと、小値賀町役場産業振興課と長崎県振興局の皆様のご支援とご協力を受けて、郷土料理教室を実施することができました。この郷土料理教室の目的は、「魚のおろし方と郷土料理について学び、地産地消運動及び食育を推進すること」です。当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、検温、マスクの着用、消毒や換気の徹底等もしっかりと行いました。そして私達担当職員にも、2年生の生徒が作った料理を試食させていただきました。子どもたちは、地域の方々のご指導のおかげで、手際よく魚をさばくことができるようになったようです。私も料理をいただきながら小値賀の皆さんの優しさと温かさを感じました。大変お世話になりました。有難うございました。

アーティストインアイランド（11月18日金曜日）6校時



先日、美術科の交流授業として、2人の外国の方と交流することができました。一人は、モルドバ共和国で生まれ、現在はオランダの首都であるアムステルダムを拠点として活動しているフォトグラファー・アーティストであるオルヤ・オレイク様が来校され、もう一人はオランダ人のアーティストであるヴィンセント・スキッパー様で、ZOOMでの参加され指導していただきました。また、小値賀町布袋座（ほていざ）二〇一九より、ラスムッセン・ブレッド様と吉岡美紀様にも来校いただき、たいへんお世話になりました。

『アーティストインアイランド』の目的は①アート活動を通して国際交流を行う。②抽象的な立体表現活動を通して、想像力や発想力を養う。③グループで協力して、一つの作品を作り上げる喜びを感じる。です。今年度のテーマは、”Building A Home”「家庭を築く」で、竹と布を組み合わせ、生徒は、建物をつくり各グループの作品を並べて、街をつくる活動を楽し行うことができました。

第59回長崎県PTA研究大会松浦大会（11月19日土曜日）

第59回長崎県PTA研究大会松浦大会が松浦市文化会館で開催され、本校PTA会長の堀則明様と副会長の中野高樹様が本校PTAの代表として分科会で発表されました。松浦大会の大会スローガンは「語り合おうPTAの絆 親の笑顔は子どもの笑顔」で、研究主題は「家庭・学校・地域が連携して次世代を担う子どもたちを育むPTA活動」です。第3分科会で発表した本校PTAの研究テーマは「対話による良好な親子関係の育成と生徒の自律する力を育む」でした。堀会長が提言者で、中野副会長がPC操作を担当され、協力しながら堂々と発表され、来場者からの質問にも的確に回答されていました。



昨年度から、前PTA会長田川昌義様、前教頭石井洋治様を始め多くの人達の協力を得ながら準備を行い、本年度の研究発表を成功裏に終えることができました。皆様、たいへん有難うございました。

昨年度から、前PTA会長田川昌義様、前教頭石井洋治様を始め多くの人達の協力を得ながら準備を行い、本年度の研究発表を成功裏に終えることができました。皆様、たいへん有難うございました。